

ワンランク上の病院をめざして

私たちは、患者さんの意思を尊重し、高度で良質な医療を提供することによって、地域社会に貢献します。



Message

進化する消化器外科診療



Information

■EBISU ♥キッチン

～プラス1品！おいしく野菜を食べよう編～
旬を楽しむ茄子ときのこの炒め物

■院長エッセイ「四季雑感」

“緊急事態下のオリンピック”

■キラリ！！看護のスペシャリスト～ Part 1～

■地域医療連携センターからのお知らせ
「患者相談窓口からのご案内」



進化する消化器外科診療



副院長 兼 外科部長 / 消化器外科部長 福永 睦

手術方法の進化

外科とは、手術という方法で病気を治す診療科です。消化器外科は、食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肛門の消化管に加えて、肝臓、膵臓、脾臓、胆嚢 / 胆道の腹腔内臓器を対象にしています。低侵襲（体に及ぼす負担軽減、早期回復、入院期間短縮）を目指して消化器外科手術の主流が開腹手術から腹腔鏡手術に移り、世間一般に広く浸透してきました。胆嚢摘出術、胃がん手術、大腸がん手術、ヘルニア修復術、虫垂切除術などでは、今や大部分が腹腔鏡手術で行われています。



以前にご紹介しました 3D（立体構築画像）カメラに続いて、超高精細画像の 4K ディスプレイ、ICG 蛍光ナビゲーション腹腔鏡システム導入と手術機器の整備も進んでいます。さらに近年、胃がん、直腸がんでロボット支援手術が保険適応となり、複雑な手術がより安全・確実に施行できるようになっています。

周術期管理の進化

周術期とは術前・術中・術後のことですが、手術が決定した外来から入院、麻酔・手術、術後回復、退院・社会復帰までの一連の期間を含みます。「手術がうまくいくかどうか」に大きな影響を与える因子は、外科医の技術面に依存するところもありますが、それ以外の重要性が注目されています。術前準備と術後管理です。術前の合併症評価・治療はもちろんですが、呼吸機能改善（呼吸リハビリ）、血糖コントロール、口腔内ケア（歯科受診）、禁煙指導、栄養改善などが、術後の肺炎や創部感染の予防につながります。

近年では、術後の早期回復を目的とした ERAS（Enhanced Recovery After Surgery）と呼ばれるプロトコルが知られており、当科でも絶飲食期間の短縮、下剤使用や剃毛を控える、低体温予防、術後の早期離床、血栓症予防対策など、エビデンスに基づいた管理を取り入れています。

集学的治療の進化

地域がん診療拠点病院として当院は平成 22 年から兵庫県の指定を受けており、消化器外科は当院で最も多くのがん患者の治療を行っています。2020 年の消化器外科の全身麻酔の手術件数は 623 件ですが、そのうちがんの手術は 216 件で 35%を占めています。がん手術は技術的に高度な手技が要求され、手術時間も麻酔時間を含めると大部分が5時間以上かかり、入院期間も長くなるので、当院の消化器外科医の労働の大部分ががん患者に費やされています。

しかしながら、どんな症例も手術で治そうとしているわけではありません。「集学的治療」とは、手術や全身化学療法（薬物療法 / 抗がん剤）、放射線治療など、さまざまな治療選択肢を適宜組み合わせながらがん治療を進めることです。最近では、各種がんの治療ガイドラインの整備が進み、進行度（ステージ）に応じた標準治療が提示されています。放射線治療科や腫瘍内科と連携し、術前に腫瘍を小さくして安全に切除し、ステージを下げて手術することで治療成績の向上に努めています。

消化器外科手術症例数	738
全身麻酔による手術症例数	623
腹腔鏡（胸腔鏡）手術症例数	441
食道がん手術（胸腔鏡）	7 (6)
胃がん手術（腹腔鏡+ロボット支援）	47 (13+10)
大腸がん手術（腹腔鏡+ロボット支援）	128 (79+4)
肝臓がん（転移含む）手術	20
膵臓癌手術	4
胆道癌・胆嚢癌手術	10
ヘルニア手術（腹腔鏡）	211 (167)
虫垂炎手術（腹腔鏡）	34 (32)
胆石等手術（腹腔鏡）	94 (89)

2020 年消化器外科の主な手術症例数

チーム医療の進化

手術は外科医だけで行っているわけではありません。手術は外科の執刀医と助手、看護師、麻酔医がチームを組んで遂行されます。究極のチーム医療といえるでしょう。しかしながら、周術期管理で述べたように、手術がうまくいったと判断されるのは、退院して社会復帰できるまでの評価になります。術前リスクを減らし、術後の合併症を軽減するには、他診療科医師、看護師、薬剤師、理学療法士（リハビリテーション）、管理栄養士、放射線技師、医療ソーシャルワーカーなど多職種での関わりが必須となります。

当院では、入院前は入退院支援センターで内服薬の確認や検査予約、他科受診予約などを調整し、安全に安心して手術を受けていただけるように取り組んでいます。入院後は、多職種で構成されている栄養サポートチームや感染対策チームなどの介入・助言で早期退院を目指しています。



医療技術 NOW!

西宮病院の「今」がわかる。

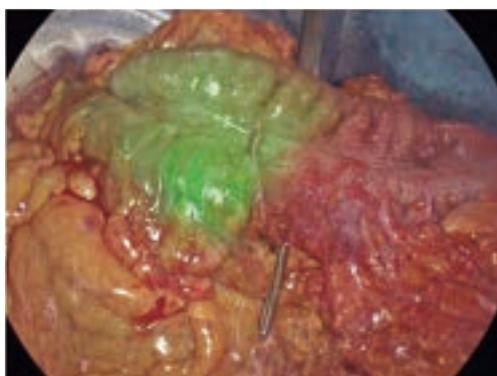
【ICGを導入しました】

ICG (indocyanine green / インドシアニングリーン) は蛋白と結合し近赤外線下に蛍光観察が可能である特徴と粒子が小さく速やかにリンパ管／血管内を流れる性質を生かして、リンパ節の同定や吻合部の血流確認に利用しています。

当院では令和 3 年 3 月から導入されましたが、ICG 蛍光ナビゲーション腹腔鏡システム導入後の大腸がん腹腔鏡手術では、重篤な合併症である縫合不全（腸管のつなぎ合わせがうまくいかず、腸内容が漏れること）は認めていません。



通常の白色光観察



ICG 近赤外線蛍光法による血流評価



今年の6月頃には、コロナの第4派も下火となり、ワクチン接種も進んでいることを考えるとこれで何とかコロナも「克服」とまでは言えないにしても、ある程度は制御可能な感染症になるのではないかと、の淡い期待を抱いていましたが、その期待は第5派（デルタ株）で一瞬の内に吹き飛びました。7月中旬からの患者数の増加は、予想をはるかに超え、当院のコロナ病棟も何時の間にかほぼ満床となっています。高齢者へのワクチン接種のおかげで、感染者の中における高齢者の割合が減っていることを我々も実感していますが、たとえ割合が減っても感染者の絶対数が増えれば、高齢者の感染者数も当然増えることになります。また、現在、40代～50代の感染者数が非常に増えていますが、この年代の人も特に合併症のあるハイリスクの人は、ある確率で重症化するので今後の医療逼迫、そして、一般医療への影響も大変懸念されます。

コロナが流行し始めた頃に比べるとある程度治療薬が開発されたと言え、残念ながらインフルエンザのタミフルのように決定打となるほどの効果と利便性を兼ね備えた治療薬はまだ開発されていません。ともかく、今、大切なことは、出来るだけ人との接触の機会を減らすこと、検査を拡充して無症状感染者を一人でも多く同定すること、そして、ワクチン接種を速やかに進めることだと思います。緊急事態宣言も4回目にもなると、残念ながら効果は極めて限定的で今のままでは感染状況を改善するほどの効果は期待できないと思います。通常、”State of Emergency” と言えば、繁華街は閑散としているはずですが、現実、ほぼ普段の人流です。世界のお祭り（オリンピック）を開催しながら、一方でstay homeと言われても・・・

と言ったところでしょうか。

イギリスは、コロナ患者数が増えているにも関わらず、人口の約72%が少なくとも1回のワクチン接種を終了していることを背景に、社会生活における殆どの制限を解除する途方もない公衆衛生上の社会実験を現在実施しています。私には、緊急事態下のオリンピック開催も同様に壮大な社会実験のように思えます（日本での1回接種率はまだ約40%程度）。一般に臨床試験は、倫理委員会でその科学性や倫理性が厳しく審査され承認を得て初めて実施可能となります。もしこの壮大な社会実験の可否が政治判断でなく、倫理委員会で審査されていたらどのような結果になっていたか大変興味のあるところです。



西宮市立中央体育館

今年の7月から兵庫県が主導する大規模ワクチン接種が西宮と姫路の2会場で開始されました。西宮会場は、西宮市立中央体育館で現在1日約1000人に対してワクチン接種を実施しています（当院からも毎日1名医師を派遣しています）。他の都道府県で実施された大規模接種では色々とトラブルが報告されていましたが、西宮会場は、準備が良かったのか当初より極めて円滑に接種が実施されています。日本のワクチン接種率は、先進国の中ではまだまだ低い状況です。ワクチン接種が速やかに進んで、一日も早く「日常」が戻ることを願うばかりです



兵庫県立西宮病院長
野口 眞三郎

キラリ!! 看護のスペシャリスト ~ Part 1 ~

がん看護専門看護師 / 乳がん看護認定看護師 井関千裕

当院には、「専門看護師 (CNS : Certified Nurse Specialist)」2名と「認定看護師 (CN : Certified Nurse)」8名が在籍しております。どちらも、日本看護協会に認定された看護資格で、特定分野の深い知識や経験を持つ看護のスペシャリストのことです。

私たちは、患者さんとそのご家族の笑顔が少しでも増えるように日々看護をしています。“はまかせ”では、看護のスペシャリストの役割と、キラリと光る“看護の仕事”を連載で紹介いたします。

相談や面談を希望される方は、地域医療連携室相談窓口までご連絡ください。

専門看護師：看護系大学大学院修了者

母性看護：妊娠・出産、女性の一生をケアする達人 細見 CNS

がん看護：がん治療と看護のプロフェッショナル 井関 CNS

認定看護師：認定看護師教育機関で教育を受けた者

皮膚・排泄ケア：褥瘡、ストマ管理なら 仲西 CN **透析看護：**透析看護の高度なスキルを持つ 福田 CN

手術看護：手術に関する熟練の技をもつ 正木 CN **感染管理：**COVID-19 など感染対策は 山本 CN

救急看護：救急看護のナンバーワン！ 入江 CN **緩和ケア：**“自分らしく生きる”を支援する 大前 CN

放射線療法看護：放射線看護といえば 高津 CN **乳がん看護：**乳がんに関して頼れる存在 井関 CN

がん化学療法看護：がん治療に関するお薬のことは百戦錬磨 渋谷 CN



細見和加

母性看護専門看護師



井関千裕

がん看護専門看護師
乳がん看護認定看護師



仲西優美

皮膚・排泄ケア認定看護師



福田清人

透析看護認定看護師



山本美雪

感染管理認定看護師



大前文紀恵

緩和ケア認定看護師



入江香代

救急看護認定看護師



高津秀子

放射線療法看護認定看護師



正木潤

手術看護認定看護師



渋谷はるみ

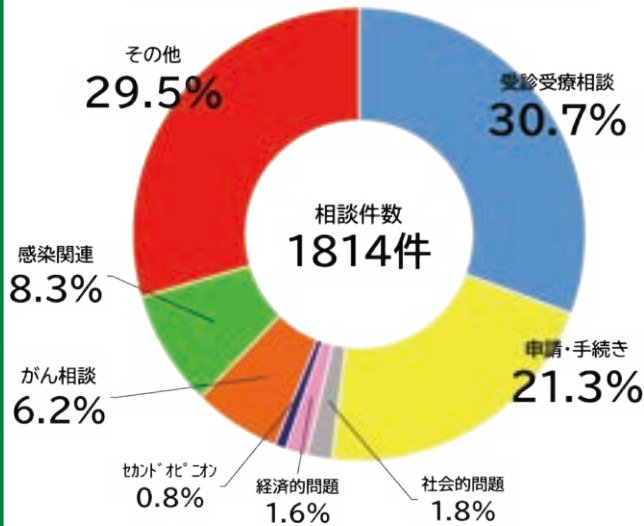
がん化学療法看護認定看護師



患者相談窓口からのご案内

患者相談窓口では皆様安心して治療を受けられる様、受診受療の相談、医療福祉の相談、医療安全に関する相談窓口として、看護師、ソーシャルワーカーが対応しています。

2020年度 患者相談窓口対応件数



高額療養費について知りたい。
 介護保険や福祉制度の利用方法を知りたい。
 病気や検査、治療についての不安。
 どこに受診すればいいのか分からない。等々

ご相談に応じ、共に考え、解決をお手伝いしています。皆様からのご意見は、病院のサービス向上と安全な医療の提供に役立ててまいります。秘密は厳守しますので、どうぞお気軽にご相談ください。

ご利用について

- 開設時間** 平日 月～金曜日
祝日および年末年始（12/29～1/3）を除く
9:00～17:00
- 電話番号** 0798-34-5151（代表）
- 場所** 本館 1F
地域医療連携センター 患者相談窓口
- 相談費用** 無料



EBISUキッチン

～プラス1品！おいしく野菜をたべよう編～

今回は、秋の味覚の代表といえる茄子ときのこを使った手軽でおいしいメニューをご紹介します♪
健康維持のために毎日の食事に野菜料理を加えたいですね。あと1品ほしいときに、とっても便利です。



旬を楽しむ茄子ときのこの炒め物

BY. 栄養管理部

- 材料（4人分）
- 茄子 2本
 - しめじ 1/2袋
 - ごま 少々
 - ごま油 適量
 - 砂糖 大さじ1
 - 醤油 大さじ1



エネルギー	62kcal
たんぱく質	1.1g
脂質	3.8g
炭水化物	7.0g
塩分	0.7g

1人当たり栄養価



主菜

主食

副菜

野菜料理をプラスして栄養バランスを整えましょう♪

副菜（野菜や海藻、きのこ等が中心の小鉢）は、ビタミンやミネラル、食物繊維の供給源となり、からだの調子を整えることに役立ちます。主食、主菜、そして副菜を1～2品揃えてバランスのよい食事をめざしましょう。

（管理栄養士：鳴海 亜由美）

●作り方

- 茄子を縦半分になり、1～2mm間隔の浅い切込みを入れて、長さ2cmに切る。
- しめじの石づきをとり、600Wで1分半レンジにかける。
- 茄子をごま油で炒め、砂糖を入れる。少ししてから醤油を入れる。
- 最後にごまを入れ混ぜて、できあがり。

ワンポイントアドバイス

- 茄子を縦半分にして切込みを入れると、早く火と味が入りやすく、時短になります。
- だしを加えてもおいしいです。顆粒だしをしいたぎときは、醤油の量を5cc減らして、顆粒だしを2g入れると、塩分量はほとんど変わりません。
- 鰹節を上からかけても美味しく頂けます。
- ごまはすりたてを使うと香ばしい風味を味わえておいしいですよ。



（調理師：北川 伸江）

美味しい茄子の選び方：表面につやと張りがあり、ヘタの部分にトゲがあるものがおすすめです。



茄子の保存方法：袋に入れて冷暗所に保存し、早めに使いましょう。

管理栄養士による栄養食事相談を月～金に予約制で行っています。ご希望の場合は、主治医又は看護師、管理栄養士までお申し出ください。

編集後記

編集室



いつもはまかぜをご愛読いただきありがとうございます。今回の特集として、「消化器外科」をご紹介します。ご多忙中、ご協力いただきました先生方にこの場をお借りし、お礼申し上げます。引き続き「はまかぜ」では、地域の皆様方に院内の専門的な事柄や日常などを幅広く情報発信できるよう努めてまいりますので、今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

（はまかぜ編集委員）

HAMAKAZE

2021
Vol. 34

兵庫県立西宮病院

〒662-0918 兵庫県西宮市六湛寺町13番9号
 TEL:0798-34-5151(代表) FAX:0798-23-4594
 地域医療連携センター TEL:0798-34-5174(直通) FAX:0798-34-4436
 E-mail:chiiki-kn@hp.pref.hyogo.jp

nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp

2021.9発行